



## 登壇者

- 小宮山陽夫さん (MONET Technologies株式会社、ソフトバンク株式会社)
- 田中由紀さん (内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局)
- 尾崎守正さん (厚生労働省老健局振興課)
- 加藤博和 (地域公共交通プロデューサー、名古屋大学大学院環境学研究科)

## MaaSってなに？

**M**obility : モビリティ (移動可能性)

**a**s : としての

**a** : (1つの)

**S**ervice : サービス

意味分かんし…

## MaaSってなに？

**M**: もっと

**a**: あなたらしく

**a**: あんしんして

**S**: せいかつできるために

でもいいと思いますが…

## 統合型予約配車システム

「乗換検索」「オンデマンド交通予約」「タクシーアプリ」の融合

- 複数の公共交通から手元の情報端末を用いて自動的に利用可能な手段・経路をリアルタイムで提示し、必要に応じて配車してくれ、決済もできるシステム

### 導入のメリット

- ✓ 普段利用しない人でも分かりやすい
- ✓ 需要に応じた運行
- ✓ 相乗り・混載による効率化
- ✓ オペレーターを通さなくてよい(通してもよい)

「運んでもらう」から「やりたいことをやるためにおでかけする」へ変化(運送から移動サービスへ)

## 小宮山さん (MONET Technologies)

- 自動運転社会に向けたMaaSの事業化
- マルチタスク化(ヒト・モノ・コト混載)
- コンソーシアムを立ち上げ。MONETストア
- アセットの把握と活用
- データのデジタル化と活用

Q. 「全国に出かける中で、地域に対してどう思うか？」

- 黒船来訪ではない。地域の事業者・自治体と話をし理解しあうことを重視
- 持続可能な地域の交通サービスを実現するためには、現在の資産とコスト構造を正確に把握する事が重要と考えており、これを踏まえ、どこまで民間の範囲を広げられるか？の検討を進めたい

## 田中さん (内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局)

- 高齢者が外出することが難しい状況に
- 国としていろいろな対策(規制緩和)も行っている
- それによって各地で見直しも進み、コスト削減と利便性向上が図られている
- 地域の関係者でよく議論し、地域にあったものを見つけ出して実現することが重要

Q. 「地方創生の部局こそ『おでかけの足』に関するワンストップ相談窓口になる必要があるのでは？」

- オープンで受け止めるための体制づくりは必要
- その際に事例を紹介することに意味がある
- 地方創生では交通関係のKPI (key performance indicator 目標設定) が少ない。重要事項として考えてもらいたい

## 尾崎さん (厚生労働省老健局振興課)

- おでかけすることで介護予防につながる
- 「通いの場」「通所型サービス」への送迎
- 介護予防・日常生活支援総合事業等でおでかけの足確保に使えるものがある
- 地域ケア会議、生活支援コーディネーターの活用

Q. 「制度活用の範囲(補助対象や条件など)」を早い段階で話すのはよくないのでは？」

- 現場での問題をきいてから何が活用できるかを話すようにすべき
- 高齢者・障害者のみができるという厳しい前提条件ではないことが多い
- 課題に気付いたらアクセスしてもらえる場が必要
- 部門間の風通しをよくすることが大事

## 主な議論

- このような分科会をつくっていただいたことは意義深い。今後の連携に期待
- MaaS普及が問題解決をアシストするよう配慮が必要
- 「その人らしい生活を送れるように」という福祉の理念や、「地域みんなで考える」という取組プロセスは、交通も同じであることを実感
- みんなで話し合う場はなかなかうまく回らないことが多い。小さいことでよいので、成功体験を突破口に展開を広げることが必要

## 印象に残ったキーワード

- 共助(支えられていた人が支える側に回る)
- 共感(ひとごとからわがことへ)
- オープンな「場」(情報アクセス、出会い)
- つなぐ、チームの必要性和難しさ
- 現場のニーズ、あるいは悩みを起点に
- 担い手不足、育成のしくみの内包
- おせっかい力、手ざわり感
- アツイ心を持ったテクノクラート

くらしの足を  
みんなで考える  
全国フォーラム  
← 2019 →

日時 2019年 10月 26日(土)・27日(日)

場所 東洋大学白山キャンパス

どなたでも参加できます。フラットな仲間づくり・情報交換の場です

- くらしの足概論「くらしの足からMaaSを捉えなおす」
- ポスターセッション(取組紹介)
- 懇親会
- ショートスピーチ:国土交通省様
- 基調討議「おでかけを豊かにする『のりしろづくり』のススメ」
- オープンカンファレンス
- グループディスカッション
- 白熱討論「愉しくおでかけできる社会づくりのために破るべき殻とは？」

加藤博和

検索

<http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/kato/Jkato.htm>

質問・相談等はE-Mailで

E-Mail: [kato@genv.nagoya-u.ac.jp](mailto:kato@genv.nagoya-u.ac.jp)

facebook: [buskato](https://www.facebook.com/buskato)

### "Think Globally, Act Locally"

交通・都市施策の環境負荷をライフサイクルアセスメントによって明らかにし、CO<sub>2</sub>削減とQOL向上・費用低減を両立するソリューションを追求する一方、地域の現場でよりよい交通とまちをプロデュースする仕事にも取り組んでいます